



2012  
BUSINESS REPORT

第61期 報告書  
2011.04.1~2012.03.31

# 株主の皆さまへ

## 「人の呼吸にもっとやさしく」

～より自然に近い環境づくりを目指し、  
建築文化創造の担い手として、  
未来に向かって邁進いたします。～



代表取締役会長  
水谷 大介

代表取締役社長  
山口 隆義

株主の皆さまには、日ごろから格別のご支援、ご愛顧を賜り有難く厚くお礼申し上げます。

ここに当社第61期の営業の概況を報告させていただきます。

我々の関連する建設業界の経営環境は、多くの不安要素が存在しており、引き続き厳しい状況が続くものと予想されます。

そうした中、当社は中国を中心とした好調なアジア、太平洋地域をグループの重要なマーケットと定め、インド等に新たな市場を開拓すべく、国内外一体となって事業領域の拡大を展開しております。

本年度からは地域別役員担当制を導入し、国内外の営業を一体化して強化推進しつつ、現地企業と緊密な協力体制を築き上げ、海外へ進出されるお客様に速やかに最新情報をお届けするなど、よりきめの細かいサービスを提供できる体制を整えております。

また当社では、世界的な環境への意識の高まりと、原子力発電所の操業停止による国内の電力不足を背景に、「省エネルギー対策」「CO2削減政策」をグループが取り組むべきテーマの中核に掲げております。建築物の省エネルギーに向けた総合的な提案、リニューアルなどの取り組みの他、地中熱利用システムの開発など自然エネルギーの有効利用にも積極的に挑戦しております。

ここに第61期の営業の概況並びに決算のご報告を申し上げますとともに、株主の皆さまのご期待に応えられましよう、全社一丸となって努力してまいりますので、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# トップインタビュー

## Q1 | まずは国際的な事業展開について、手応えをお聞かせ下さい

企業による工場の海外移転が加速する中で、国内の空調設備市場は厳しい状況が続いています。しかし、私たちには1987年の香港支店開設等30年にわたる国際展開の歴史があります。海外に進出する日系企業のお手伝いだけでなく、たとえばハワイのワイキキビーチ周辺にあるホテルの空調設備の大部分は当社グループが管理しておりますし、上海万博における日本館の設備も施工させていただくなど多方面で実績をあげております。

海外事業を重要な成長軸と定めて長期計画をスタートした2011年度には、中国、インド、フィリピンの各地域において大型プロジェクトが同時進行しました。いずれも数百~1,000人の要員を必要とする大規模な工事であったため、国内から大勢の応援部隊を現地に派遣することになりました。収益面からは先行投資的な色彩の濃い事業ではありましたが、結果として当初想定していた以上のスピードで全社的なグローバル化が進展し、今後の海外展開に向け大きな自信になりました。

国際展開においては「国内外一体化」を重要な基本方針として掲げております。国内地域別の担当に分かれている事業本部に対して、それぞれ担当する海外市場を割り当て内外一体的に運営させる体制をスタートしました。たとえば、首都圏を担当している事業本部はインドを、西日本事業本部は中国、東日本事業本部は東南アジアを、それぞれ責任を持って直轄しています。中国のプロジェクトで人員が足りなければ、西日本事業本部が担当者を送り込みます。人事面でも、国内各事業本部の管掌役員が海外地域の管掌役員も兼ねる体制になっております上に、海外各地域での売上や利益は直轄する事業部内の成績として評価されます。「仕事に日本も外国もない。グローバル企業として、どんだん世界中の現場に行って仕事をしよう」という発想で、この一体化路線を今後も推進していきます。



インド作業所での安全大会で陣頭指揮（2011年11月）



# トップインタビュー

Q2

成長戦略Decade Strategy 2020では2010年代を「人づくりの10年」とも定義しています。どのような進捗がみられますか

2011年度には、インドのイの字も知らなかった社員が40名、インドでの工事を経験してきました。期間の短い社員で1~2ヶ月、長い場合の滞在期間は1年に及びます。国境の壁を取り払って人材を行き交わせることで、今後の成果につなげていきたいと思っています。

日本の国内市場では、工事全体をとりまとめる建設会社がお客様との交渉窓口となり、私たちのような専門家集団は、その下で空調・衛生・電気といった設備工事を手がけるスタイルが一般的です。ところが海外の場合は、工場をつくるお客様に対して私たちが直接お話をさせていただける機会が増えています。こうしたビジネスチャンスが広がるにつれ、営業・契約交渉する人、図面を書く人、現場で作業員を指揮・指導する人、等々、外国語もできて知識・技術能力もある優秀な人材を、今まで以上に多く育てることが必要になっています。中国の拠点事務所では、総勢約120名の現地スタッフが働いているのですが、皆やる気に満ちあふれています。一生懸命勉強し、建築・設備関係の資格を取得して自らを伸ばしていきたいという熱気を感じます。彼らの中から、将来、グループの核になりそうな人材を日本にまねいて、この春から研修を始めました。日本語を学んだ後、技術面の指導を受ける3~4ヶ月のプログラムです。現地法人を設立して2年しか経っていないインド事業についても、積極的に日本で研修生を受け入れていくことを考えています。人材育成の面からも「国内外一体化」を進めてまいります。



ローカルスタッフ技術研修（インド）



新入社員研修

## Q3

### Decade Strategy 2020のもう一つの柱である「環境」のビジネスについては、どのような展開をお考えですか

2008年に洞爺湖サミットが開催されて以降、日本では省エネ意識が格段に高まりました。多くの企業で「まずは、自分たちの会社がどのくらいのエネルギーを使っているのかをチェックしよう」という機運が出てきたのです。私たちが扱う空調・衛生設備は特に電力の消費量が大きいので、お客様から有効な省エネ手段について直接お問い合わせをいただく機会が増えています。私たちは、業界初とも言うべき「企業様向け建物の省エネセミナー」を開催したり、お客様の設備診断ニーズにお応えする「たてもの設備診断車」で全国各地を飛び回る、といった取り組みを通じて、環境に優しいシステムをご提案し、空調衛生設備のリニューアルや機器交換などのお手伝いをさせていただき体制を整えています。

当社は「空気」だけでなく衛生・給排水設備工事業を通じて「水」も扱いますし、長年養ってきたメンテナンス分野における強みも有しています。国内における工場や商業ビルの新築案件は右肩上がりが増えていくような状況にありませんが、一方で既存設備の保守・修理・リニューアルといった仕事は決してなくなりません。環境のテーマを切り口とし、当社の良さを十分に活かしながら積極的に付加価値の高いご提案とサービスをお届けしていきたいと考えています。



2008年より定期的に開催している『建物の省エネセミナー』



たてもの設備診断車

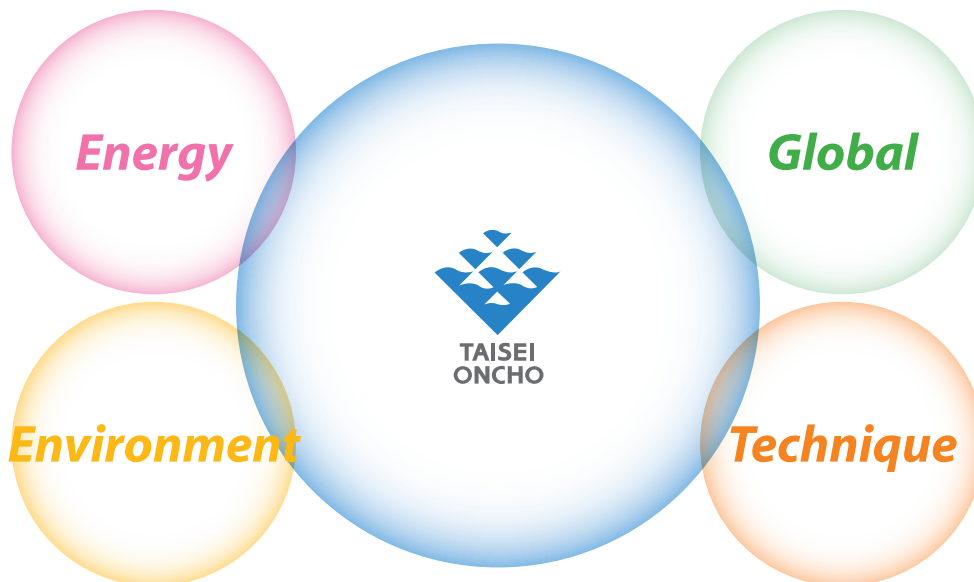
## Q4

### 最後に、株主の皆さまにメッセージをお願いします

大成温調グループは、長年の経験と実績に裏づけられた技術力をベースとし、国内事業を中心に安定した経営状態を維持してまいりました。その一方で、決して現状に甘んじることなく、海外と環境という2つの成長エンジンを大きく育てるべく、引き続き積極的に事業を展開する所存です。将来に対する「夢と希望」を持ち、全社一丸となって進んでまいりますので、株主の皆さまの末永いご支援を、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

# 事業内容

大成温調は建物の新築、保守・修理・小工事、リニューアル工事  
及び省エネ、節電提案等の環境改善を行う設備専門工事会社です



私たちは世界に<sup>はばた</sup>跳躍く、総合設備のプロフェッショナルグループを目指します。  
-Global Facility Solution Group-

2012年3月  
完成

キヤノン中山工場（中国）



2012年3月  
完成

甲府地方合同庁舎



# 連結財務諸表（要約）

## 連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	平成23年3月31日現在	平成24年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	28,503,486	31,977,669
有形固定資産	3,538,086	3,573,587
無形固定資産	48,427	44,132
投資その他の資産	3,337,643	3,001,040
資産合計	35,427,644	38,596,429
<b>負債の部</b>		
流動負債	16,567,050	20,043,856
固定負債	554,690	586,606
負債合計	17,121,740	20,630,463
<b>純資産の部</b>		
資本金	5,195,057	5,195,057
資本剰余金	5,087,248	5,087,248
利益剰余金	8,851,358	8,640,866
自己株式	△306,140	△306,354
その他有価証券評価差額金	138,952	128,938
為替換算調整勘定	△660,571	△779,789
純資産合計	18,305,903	17,965,966
負債純資産合計	35,427,644	38,596,429

## 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	平成22年4月1日から平成23年3月31日まで	平成23年4月1日から平成24年3月31日まで
売上高	41,964,527	48,206,391
売上原価	37,358,213	43,783,724
売上総利益	4,606,313	4,422,667
販売費及び一般管理費	3,639,497	3,901,377
営業利益	966,816	521,289
営業外収益	179,026	303,069
営業外費用	38,108	90,469
経常利益	1,107,734	733,889
特別利益	149,355	3,195
特別損失	300,328	3,557
税金等調整前当期純利益	956,762	733,527
法人税、住民税及び事業税	220,043	470,949
法人税等調整額	236,138	129,815
当期純利益	500,580	132,763

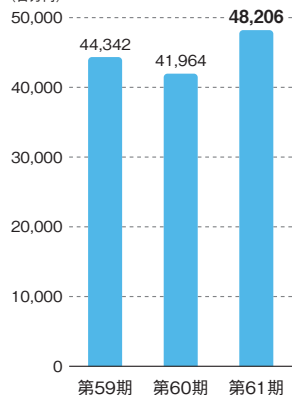
## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	平成22年4月1日から平成23年3月31日まで	平成23年4月1日から平成24年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,387,520	△984,398
投資活動によるキャッシュ・フロー	478,194	53,392
財務活動によるキャッシュ・フロー	△223,625	△168,153
現金及び現金同等物に係わる換算差額	△150,780	△36,702
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,491,309	△1,135,861
現金及び現金同等物の期首残高	9,349,626	10,840,935
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	-	43,276
現金及び現金同等物の期末残高	10,840,935	9,748,350

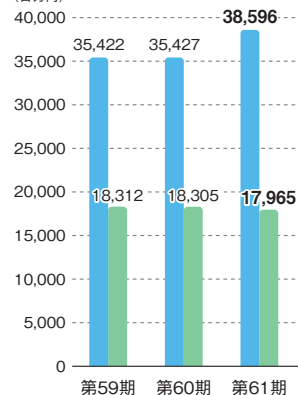
## 売上高

(百万円)



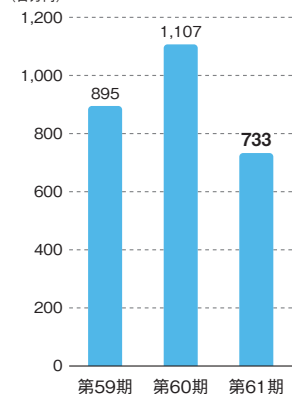
## 総資産・純資産

(百万円) ●総資産 ●純資産



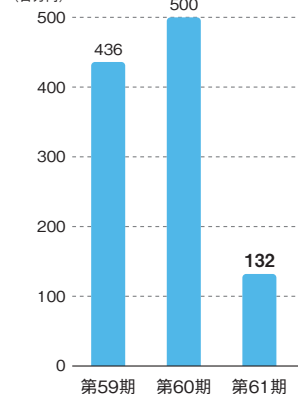
## 経常利益

(百万円)



## 当期純利益

(百万円)



当社のHPでは、詳細なIR情報を掲載しております。

大成温調 IR

検索



# トピックス1

## 大成温調のグローバルネットワーク

1980年代より当社は、アジア、環太平洋圏に位置する海外拠点の強化を目指してまいりました。

現在、アジア諸国地域においては中国、フィリピン、インドの各国で、主に製造業を中心とした日系企業様に対し、生産工場などの設備を数多く施工して実績を重ね、近年では上海万博日本館や、高層住宅、複合施設など、多岐にわたる施設を手がけるに至っております。

### 大成温調のパートナーシップ

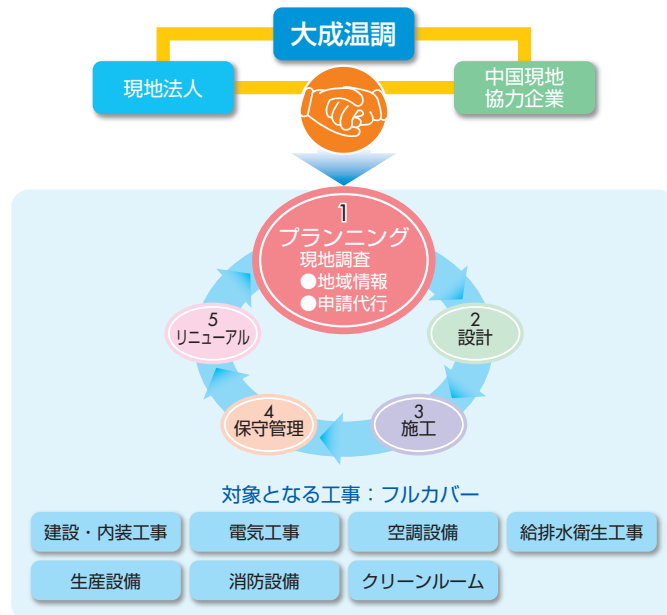
大成温調の海外におけるセールスポイントの一つに、現地企業との強力なパートナーシップがあげられます。これにより、海外に進出される日系企業様を手厚くフルサポートいたします。

例えば中国においては、建築工事一式から内装、電気、機械設備など20社に及ぶ現地企業と協力関係を築いて、どのような工事形態にも柔軟に対応できる体制を構築いたしました。

工事の前段階の現地調査や申請業務は、現地情報に精通していないと煩雑なものです。大成温調では、こうしたプロジェクトの初期段階から、本工事、竣工後のアフターフォローまで、工事に関わる全ての段階をカバーいたします。

併せて工事の実行段階においては、建設工事を現地企業が、設備工事を現地法人が担当し、さらに協力体制全体を大成温調が包括管理することで、高い信頼性と大幅なコスト削減を実現しております。

また、インドにおいては、現地で85年に及ぶ業歴を持つ大手電気設備業者と協業体制を敷き、同社の持つ強固な経営基盤と、地元に着した幅広い人脈を、当社のセールスポイントとして取り込み、お客様が必要な情報を速やかに提供できる体制づくりを実現しております。





大成温調グループは、5カ国・8主要現地法人に及ぶアジア・太平洋地域のネットワークを活用し、お客様の海外進出を設備の面から幅広くサポートしております。

『世界へ跳躍<sup>はばた</sup>く総合設備のプロフェッショナルグループ』を目指し、今後も積極的な海外展開を推進してまいります。

○ 大成温調機電工程（上海）有限公司



○ 大成温調香港工程有限公司

過去20数年に亘り、数多くの日系企業様の中国進出をお手伝いさせて頂いており、生産工場など数々の実績を上げてまいりました。現在では中国国内10拠点にてサービスを展開しております。



○ ALAKA'I MECHANICAL CORPORATION



○ TAISEIONCHO HAWAII, INC.

1990年に、現地企業を買収し、以来約20年に亘り、地場の民間リゾート施設、ハワイ州政府事業、軍関連設備はもとより、日系企業による数々の大型プロジェクトへも積極的に参画してまいりました。



○ TAISEI ONCHO INDIA PRIVATE LIMITED

2010年に、現地の大手電気設備工事会社と提携し、100%出資の子会社としてインドの首都デリーに設立されました。日系設備工事会社としては、実質的にわが国初めての現地法人となります。



○ ALAKA'I PACIFIC, INC.(GUAM)



沖縄米軍のグアム移転計画を見据え、2011年5月に、アラカイメカニカル社の100%子会社として設立いたしました。



○ ONCHO PHILIPPINES, INC.

1995年に現地企業との合弁会社としてスタートし、以来約15年に亘り、日系のゼネコン、メーカーを中心に着実に信頼関係を築き上げてまいりました。



○ TAISEI ONCHO AUSTRALIA PTY. LIMITED

1989年に取得した土地を管理しております。

## トピックス2

### 当社の施工物件がBELCA賞を受賞

2012年5月、公益社団法人ロングライフビル推進協会（BELCA）が主催する「第21回BELCA賞」において、当社が改修に携わった「芝学園講堂」（東京都港区）がベストリフォーム賞を受賞しました。

1966年の竣工以来、長く親しまれてきた建物を、これまで通りの愛着を持って使い続けてもらうために、改修に当たり、施主、建設会社が一体となり、様々なアイデアが実現されました。

当社は、空調・衛生設備を担当いたしました。空調については、残響時間をコントロールするため設置した木質壁の内側に空調ダクトを隠し、上下の温度差の少ない空間を実現したこと、衛生については、節水トイレ、自動水洗、消音装置の設置など大幅な省エネ化を図ったことが高く評価されました。



芝学園講堂

### 節電アドバイザーとして活躍

品川区では2011年、東日本大震災の影響による夏場の電力不足への対策として、「ものづくり節電キャンペーン」を行い、積極的に節電を行う区内の中小製造業者等の中で、特にその効果や実績が優良であった事業者を表彰しました。

当社は品川区より「節電アドバイザー」として認定され、当該キャンペーンに参加した各事業者に対し、実情に見合った節電方法などをアドバイスし、さらにその削減効果の評価を行いました。

その結果、当社が「節電アドバイザー」として提案を行った事業所のうち、1事業所様が優秀賞を、1事業所様が優良賞を、3事業所様が奨励賞を受賞されました。

# 会社概況・株式情報

## 会社概況

商号	大成温調株式会社	代表取締役会長	水谷大介
本社	〒140-8515 東京都品川区大井一丁目47番1号 TEL.03(5742)7301(代) FAX.03(5742)4551	代表取締役社長	山口隆義
創設	昭和16年4月3日	取締役副社長	中尾信弘
設立	昭和27年12月22日	専務取締役	中野吉光
資本金	51億9,505万7,500円	常務取締役	但野村恭和
従業員の状況	631名	常務取締役	中志野村利憲
(平成24年3月31日現在)		常務取締役	吉野谷幸一
役員		取締役	水佐藤一夫
の状況		常勤監査役	宇山博和
(平成24年6月28日現在)		監査役	大久保和正

(注) 監査役杉山博康氏及び大久保和正氏は、社外監査役であります。

## 株式の状況

平成24年3月31日現在

- 発行可能株式総数…………… 55,000,000株
- 発行済株式の総数…………… 14,364,975株
- 株主数…………… 1,940名
- 大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
アミー・コーポレーション(株)	2,686千株	20.2%
大成温調取引先持株会	1,429	10.8
水谷日出夫	1,112	8.4
大成温調従業員持株会	817	6.2
河村和平	803	6.0
河村直美	250	1.9
小川恭弘	182	1.4
青木錠衛	180	1.4
和田ふみ子	150	1.1
(株)みずほ銀行	146	1.1

(注) 上記のほか自己株式(1,078,320株)を保有しており、持株比率は自己株式を除いて計算しております。

## ネットワーク

平成24年6月28日現在

### 大成温調株式会社

本社・支店	本社(品川区)、東北(仙台市)、関東(さいたま市)、東関東(千葉市)、横浜(横浜市)、静岡(静岡市)、名古屋(名古屋市)、大阪(大阪市)、九州(福岡市)
営業所	青森(青森市)、盛岡(盛岡市)、秋田(秋田市)、山形(山形市)、気仙沼(気仙沼市)、郡山(郡山市)、茨城(つくば市)、宇都宮(宇都宮市)、群馬(太田市)、千葉県南(鴨川市)、東京都(荒川区)、江東(江東区)、多摩(立川市)、厚木(伊勢原市)、山梨(中央市)、新潟(長岡市)、三島(三島市)、滋賀(大津市)、京滋(京都市)、神戸(神戸市)、奈良(奈良市)、和歌山(和歌山市)、広島(広島市)、四国(高松市)、沖縄(那覇市)
サービスステーション	東京 城南・中央(品川区)、東京 城北・中央(品川区)、東京都(荒川区)、城東(江東区)、多摩(立川市)、横浜(横浜市)、京浜(横浜市)、厚木(伊勢原市)、千葉(千葉市)、大宮(さいたま市)、太田(太田市)、宇都宮(宇都宮市)、我孫子(我孫子市)、静岡(静岡市)

## 重要な子会社

### 温調エコシステムズ株式会社

東京都品川区大井一丁目47番1号

### TAISEIONCHO HAWAII, INC.

アメリカ合衆国ハワイ州

### ALAKA'I MECHANICAL CORPORATION

アメリカ合衆国ハワイ州

### ALAKA'I PACIFIC, INC.

アメリカ合衆国デラウェア州

### 大成温調機電工程(上海)有限公司

中華人民共和国上海市

### 大成温調香港工程有限公司

中華人民共和国香港特別行政区

### TAISEI ONCHO INDIA PRIVATE LIMITED

インド共和国デリー市

### ONCHO PHILIPPINES, INC.

フィリピン共和国マカティ市

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月  
基準日 毎年3月31日  
定時株主総会・期末配当 中間配当を行う場合には9月30日  
中間配当 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
事務取扱場所 〒183-8701  
(郵便物送付先) 東京都府中市日鋼町1番10  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) ☎0120-176-417  
(インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出下さい。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出下さい。
- ・未払配当金の支払について  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出下さい。

公告方法 電子公告の方法により、当社ウェブサイトの下記アドレスに掲載して行います。  
<http://www.taisei-oncho.co.jp/ir/notice.html>  
ただし、やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。



TAISEI  
ONCHO  
大成温調株式会社

ISO 9001 登録  
14001

本社 ● 〒140-8515 東京都品川区大井一丁目47番1号  
TEL.03 (5742) 7301(代) FAX.03 (5742) 4551

## 当社ホームページのご案内

<http://www.taisei-oncho.co.jp/>

当社のより詳細な最新情報は当社ホームページに掲載しております。事業や業績など、株主の皆さまに当社をより深くご理解して頂くためのコンテンツも揃えておりますので、是非、ご覧下さい。

### ●コーポレートサイト



### ●IRサイト

